

災害に備え、被害を減らす

～自らの命は自ら守る～

備蓄品の準備



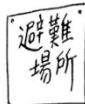
大きな災害が発生した場合、国や自治体の支援が遅れることがあります。最低7日間分の食料・飲料水や、生活必需品を備蓄しましょう。また、感染症防止のため、マスク・消毒液等についても、備蓄しましょう。



家具の固定



家具が動いたり、倒れたりすると避難の障害物となります。また、倒れた家具の下敷きになると、命に関わる場合もあります。家具の固定を確実にしましょう。



避難場所・経路の確認



何を持って、どこへ、どの経路で避難しますか？ 家族とはどこで会いますか？ 避難経路にブロック塀や山の斜面など危険箇所はありませんか？ あらかじめ家族で話し合い、自身でも考えておきましょう。

今できる取組を



©yamaco

今年は新型コロナウイルス感染症防止のため、大規模な訓練が中止される傾向にあります。そんな今だからこそ、家族と一緒に災害が起こったときのシミュレーションをするなど、家庭で防災について考えましょう。



浜松東警察署